

岡崎市社会資本整備総合交付金評価委員会議事録

1 日時

令和3年10月26日（火） 10：30～

2 場所

岡崎市役所 分館2階 201号室
（オンライン会議にて開催）

3 評価委員

出席者

委員長：名城大学教授	鈴木 温 氏
委員：名古屋大学准教授	井料 美帆 氏
委員：名古屋大学准教授	中井 健太郎 氏
委員：名古屋市立大学准教授	三浦 哲司 氏

4 事務局

総合政策部企画課副課長	木下 政樹
総合政策部企画課係長	鈴木 昌幸
総合政策部企画課主事	増澤 趣里
土木建設部建設企画課副課長	村井 宣雄
土木建設部建設企画課係長	平岩 美佳
上下水道局上下水道部下水施設課係長	福井 勇二
上下水道局上下水道部下水工事課係長	永井 正人
上下水道局上下水道部下水工事課技師	牧野 雄大
上下水道局上下水道部下水工事課技師	岡田 一将

5 傍聴人

なし

6 委員会次第

(1) 開会

委員長選任

(2) 議事

「新世紀岡崎 耐震のみち構築計画（防災・安全）（重点計画）」事後評価

(3) 閉会

7 配布資料

- ・ 事業説明資料
- ・ 位置図
- ・ 事後評価書
- ・ (参考資料1) 災害対応トイレについて
- ・ (参考資料2) 雨水貯留浸透施設設置補助制度パンフレット

8 会議要旨

- (1) 本委員会は、「岡崎市附属機関等の会議の公開に関する要領」第2条に基づき、公開となることの説明
- (2) 委員長の選出、鈴木委員を委員長に選出
- (3) 議事（事務局説明、質疑応答）

9 議事内容

鈴木委員長	「新世紀岡崎 耐震のみち構築計画（防災・安全）（重点計画）」の事後評価について、事務局から説明をお願いします。
事務局	（「新世紀岡崎 耐震のみち構築計画」の、計画の指標、実績、指標達成状況、評価について説明。）
鈴木委員長	事務局の説明事項でご意見等ありましたら、ご発言をお願いします。
井料委員	雨水貯留浸透施設設置支援について、指標未達成の考察として設置数が伸びなかったとあるが、設置数としては2年間で30基設置という目標は達成されているため、考察の仕方を修正したほうがいいと考える。本計画期間中においては、設置数は当初予定通りという考え方で良いのではないか。
鈴木委員長	表現の仕方について、工夫すると良い。
事務局	指摘のあった箇所の表現を修正する。
中井委員	管渠の耐震対策について、実施率が約50%であり、指標としては達成しているが、耐震対策の実施率は100%にすべきことからするとまだまだ低いと考える。対象管路延長には、対策が不要な管路延長も含まれているのではないか。その区別ができるよう実施率が変わってくるのではないか。

事務局	重要な管路として位置付けた管路に対し、実務として耐震診断を行っている。耐震診断により耐震対策が不要と判断されれば、実施率の割合が増加する可能性はある。
三浦委員	災害対応トイレは整備して終わりではなく、整備したものが、発災し避難所が開設された時に本当に使いこなせるかどうか重要である。町内会加入率が低下していたりする中で、整備後に市から地域への指導や啓発活動の見通しについてはどうか。
事務局	防災訓練での組立実施や、イベントでの災害対応トイレを展示案内、地域や小学校から申込を受けて実施する出前講座等で災害対応トイレについて啓発を進めていく。
三浦委員	地道ではあるが、いざというときに使えるようにするため、日ごろから啓発や訓練を行っていただきたい。学校関係者にも協力いただく場合があるかもしれないので、そのあたりも検討していただきたい。

10 結果

この事後評価案が妥当であることを判断する旨、委員一致で採決された。